

キャラクター名
女神クロノア

プレイヤー名

シンドローム	バロール		ワークス	レネゲイドビーイングA	カヴァー	神
	バロール					
オプション			年齢			性別
覚醒	生誕	衝動	飢餓	初期侵食率		36%
出自	天涯孤独	経験	創世	邂逅	好奇心	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	26
肉体	0	1	0			1	行動値	8
感覚	2	0	0			2	(非装備時)	8
精神	4	0	0			4	戦闘移動	13
社会	2	0	0			2	全力移動	26

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	1		射撃	1		RC	2	2	交渉		
回避	1		知覚			意志	1		調達		
運転:			芸術:			知識:			情報:	ゼノス	3
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
死の宣告 エンド オブ アイズ	RC	4r+4				

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	

合計装甲: 0 合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイムス	消費
Dロイス:神格	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 4 残り財産P:

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
イベントホライズン	5	3	セットアップ	至近	範囲	自動		
効果: リアクション-Lv*2d								
死神の瞳	7	3	メジャ	視界	単体	RC 対決		
効果: 射撃攻撃 命中時 次に与えるダメージをLv+2する								
時の棺	1	10	オート	視界	単体	自動	100	
効果: 判定を失敗させる 自動成功には使えない								
停滞空間	2	5	メジャ	視界	単体	対決	シナLv回	
効果: 命中時 シーン中 行動値0 マイナーで解除								
暴食の魔王	★	5	オート	視界	単体	自動	120	
効果: ロール直前 Lv+2D 自分ラウンド中判定-3D								
ヒューマンズネイバー	1		常時				RB	
効果: 衝動判定ダイス+Lv個する								
オリジン:レジェンド	1	2	マイナー	至近	自身	自動	RB	
効果: 精神の達成値+Lv*2								
空間圧縮	1	2	セットアップ	視界	単体	自動		
効果: 対象は戦闘移動を行う(13m 拒否可)								
ディメンションゲート	1	3	メジャー	至近		自動		
効果: 自分の知ってる場所に繋がるゲートを作りだす								
屑鉄の橋	1		メジャー	視界		自動		
効果: 重力を操りガラクタなど集め大きな足場を作る								
吸着	1							
効果: 重力方向を操作し手に持つてるものを落ちないようにする								
ポケットディメーション	1							
効果: 空間をねじ曲げてありえないはずの空間を作り出す								
魔王の玉座	1							
効果: 移動の時は浮いてますわぁ								

神です。

遠い昔の昔、宇宙がまだでき始めたころ。
レネゲイドビーイングのパロールの力を持って生まれた私は初め、真っ暗で何も無い宇宙で生まれた。
周りがあるものとすれば、自分が制御しているであろう何万、何億という数の巨大な魔眼であった。

しかし私はこの何も無い宇宙に退屈していた。果てしなく続いている空間でありながら何も無なかったからである。
(ゴミやら岩ならあったかもしれない)
自分と同じような生命体すらにも会えずに、孤独で宇宙をさまよっていた。
こんな世界に呆れていた頃に「ないなら自分で作ればいいのだ」という思想に辿り着いた。

しかし、自分一人だけの力ではどうにも生命を作るには至らないとわかってはいたが、その時の孤独な私は自らの欲に抗うことはできなかった。
出来ることは何かと考えた結果、重力で縛られた星をとく作れば生命体的に暮らしやすい環境ができると考えた
私は今のありったけの力を振り絞り、自らの魔眼を永遠に途切れることのない重力で縛り、宇宙の各地へとばら撒くことにした。
自らの力を使い果たした私は、いつか私と同じ思想の者が現れ私に協力してくれる事を願いながら、深く長い眠りについた。
(結果的にはサラマンダーの使いとか諸々が恒星とか作って協力してくれた)

長い月日が流れようやく目覚めの時が来た。目が覚めると自分の魔眼の上に青い星ができ文明を築き生命が誕生していた。地球だ。

そこにいる人間という生命は非常に面白いものだった。
様々な思想を持った者がおり時には協力し時には裏切りを繰り返して成長している。